



熊谷市立荒川中学校

校長 吉田 順一

一 本校の沿革

昭和二十二年陸軍の元廠舎を仮校舎として発足した荒川中学校は、今年度で七十八年目を迎えました。開校当時に植えられた木々も大地にしっかりと根を張り、大空に向かって枝葉を広げ、卒業した生徒とともに大きく成長しております。

この七十八年間、国や県、市などの研究委嘱等を引きうけ熊谷市の中心校として活動するとともに、運動面においても、昨年度、野球部が県大会で優勝するなど、生徒たちは輝かしい伝統を受け継ぎたくましく成長しております。

二 校章・校歌制定に係るエピソード

1 校章

- ① 制定年 昭和二十三年五月
- ② 開校当時の環境を思い起こさせるデザ

2 校歌

インであり、原図は、当時の美術科教員であった飯田長保先生が作成しました。上半分は大地にしっかりと根を張って風雪に耐える松を、下半分の点々は荒川の砂と小石を表し、その点を囲む太いものは勾玉で、熊谷（曲谷）の熊 \parallel 曲を表しています。

- ① 制定年 昭和二十九年三月九日

② 昭和二十八年芸大音楽学校を卒業された栗原泰先生が本校に赴任し作曲を担当されました。作詞は、栗原先生の斡旋により群大の清水重道先生に依頼しました。

清水先生は、わざわざ学校を訪れ本校の生徒や地域、自然の雰囲気満喫され、作詞されたとのことです。

当時は、終戦により、自分だけしか頼れない時代でしたが、そんな中「学べ、磨き、鍛えよ」と呼び掛けるこの校歌は、荒中生の心に熱く響いたことでしょう。

熊谷市立荒川中学校 校歌

清水重道 作詞
栗原 泰 作曲

Moderato (♩ = 108)

ち え の し る し か ち ち ぶ ね の あ
か ね ま ば ゆ い あ さ の い ろ
あ あ こ の む ね に し み と お り あ あ こ の む ね に
し み と お り た か い お も い を お こ さ せ る
ま な ぼ う よ ま な ぼ う よ あ ら か わ ち ゅ う が く い
た だ き と と お と ー く

一、知恵のしるしか秩父嶺の

あかねまばゆい朝の色

あ、この胸にしみとお

高いおもいをおこさせる

学ぼうよ学ぼうよ

荒川中学

いただきと尊く

二、瀬鳴りやさしい荒川の

声のさやけき聞くごとに

あ、この心洗われて

清い光にみたされる

磨こうよ磨こうよ

荒川中学

流れとあかるく

三、歴史はるかな産土の

実りゆたかにほほえめば

あ、このからだきおいたち

強い力がわいてくる

鍛えようよ鍛えようよ

荒川中学

沃野とたくましく